

No. 154

9月定例会 平成26年11月1日

発行：岐阜県池田町議会

しい けだ

Ikeda
2014

議 会

だ よ り

養基小学校・1年生
どんぐりひろい！
こま！もまわしたよ！
（養基神社）



ハリヨ池周辺
生息数調査・投網で！
（上八幡地内）



Contents

- ★9月定例会 他
- ★質疑あれこれ
- ★一般質問
- ★きらり・編集後記

2~4P

5~6P

7~11P

12P

第3回定例会

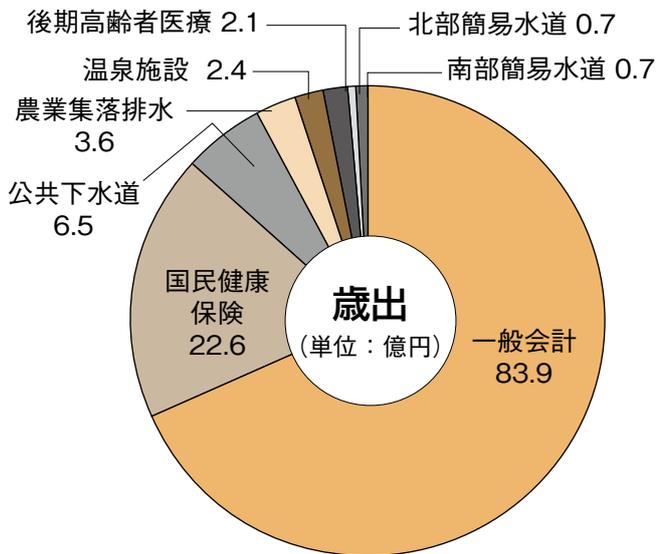
平成25年度 決算を認定

9月1日
▼
9月11日

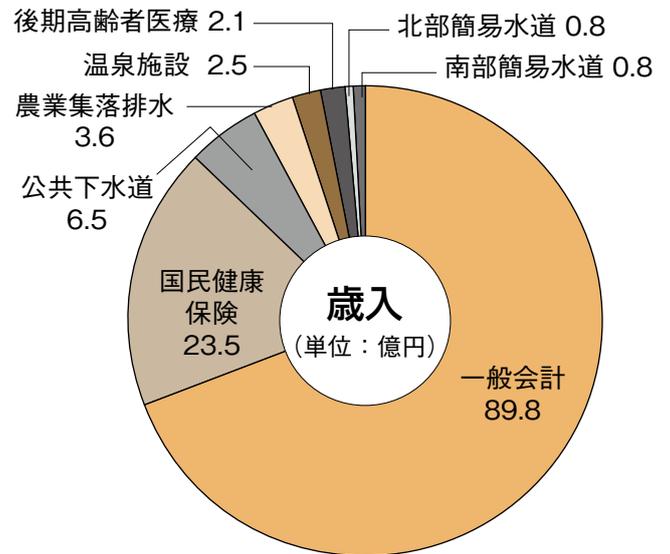
〈一般会計〉歳入**89億8010万円** (前年対比10.7%増)

歳出**83億8709万円** (前年対比 9.0%増)

〈特別会計〉7会計及び事業会計認定



〈水道事業会計〉収益的支出 1.7億円



〈水道事業会計〉収益的収入 1.9億円

★人権擁護委員

野原 昭弥 (再)

池野

★固定資産評価審査委員

森 廣幸 (再)

六ノ井

★教育委員会委員の任命

長谷川 貴志 (再)

池野

人事案件

(敬省略)

9月議会の内容

- ◎ 25年度決算の認定 9件
- ◎ 26年度補正予算 9件
- ◎ 池田町税条例の一部改正 (平成26年4月1日から適用) 1件
- ◎ 池田町消防団員退職報償金の支給条例の一部改正 (平成26年9月11日から施行) 1件
- ◎ 子ども・子育て支援法等関連3法制度に依る町条例 3件
- ◎ 人事案件 3件
- ◎ 水道事業会計未処分利益剰余金の処分 1件
- ◎ 「手話言語法」制定を求める意見書について

賛成多数で原案可決

〈平成25年度健全化判断比率〉

◎実質赤字比率	(黒字決算のため該当なし)
◎連結実質赤字比率	(黒字決算のため該当なし)
◎実質公債費比率 9.5%	(昨年 10.7% → 1.2%改善)
◎将来負担比率 53.4%	(昨年 59.8% → 6.4%改善)

〈平成25年度資金不足比率〉

◎北部簡易水道事業特別会計資金不足比率
◎南部簡易水道事業特別会計資金不足比率
◎農業集落排水事業特別会計資金不足比率
◎公共下水道事業特別会計資金不足比率
◎温泉施設特別会計資金不足比率
◎水道事業会計資金不足比率

全て黒字決算で該当なし

監査委員の決算審査意見

一般会計・特別会計の決算はいずれも誤りなく、帳票及び諸帳簿類等もよく整備され、会計・経理は適正であった。

(1) 池田温泉施設事業特別会計について

入浴利用料は2億2百万円で昨年比1.3%増となったが収入額から支出額を差し引いた利益は5百万円と平成23年度までと比較すると低くなっている。

(2) 共同給食センター建設事業について

給食センター建設は、単独での建設と比較するとかなりのメリットが享受できると考える。

平成25年度国民健康保険特別会計決算

歳入 23億 53百万円
(前年度対比 2.44%増)

歳出 22億 64百万円
(前年度対比 2.07%増)

(H25実質収支) - (H24実質収支) +
89,319千円 - 79,172千円 +

(基金積立金) - (基金取崩金)
17千円 - 0千円

= (実質単年度収支額)
= 10,164千円(黒字)

平成26年度一般会計補正予算

5億18百万円を追加して
総額83億3千万円

歳入の主なもの

前年度繰越金	4億 66百万円
県支出金(県補助金他)	28百万円
町債	18百万円

歳出の主なもの

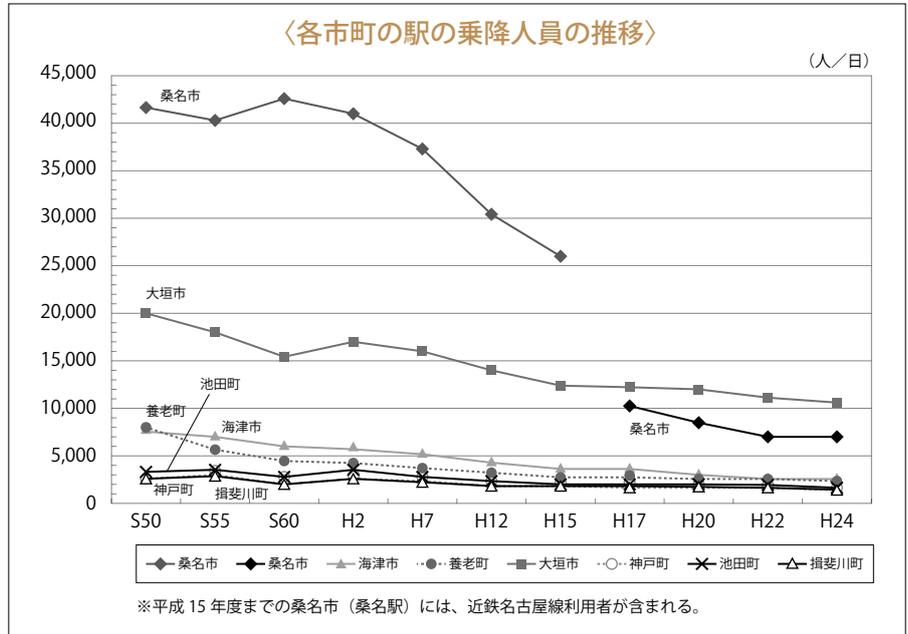
総務費(財政調達基金積立金他)	3億 20百万円
農林水産費	61百万円
土木費	84百万円

養老鉄道各駅乗降人員とその推移

養老鉄道によって実施されたカード式交通量調査によると、直近の調査日（平成 24 年 11 月 13 日）における養老線の全駅の乗降人員の合計は 28,010 人であった。

単日での調査であるが、前回の平成 22 年度調査と比べ、養老線全 27 駅のうち増加した駅が 7 駅、減少した駅が 19 駅であり、揖斐駅は増減なしであった。減少した駅が多い中、播磨駅、石津駅、美濃津屋駅、美濃青柳駅、西大垣駅、室駅などで増加が見られた。全駅では、前回より 1,508 人減少した。

▶グラフの様に利用者の減少が続いています。養老鉄道存続のために、さらに町民の皆様の利用が大切となります。



池田町議長が全国町村議会議長会副会長に!



当町の岩谷真海議長が岐阜県町村議会議長会会長に就任に続き、中日本府県町村議会議長会会長に就任し、全国副会長に就任された。(任期 1 年)

就任の抱負として、次の 2 点を重要課題として取り組んでいくと抱負を述べた。

1. 道州制導入への反対を政府に強く申し入れる。
……道州制は強制合併につながり、地域の疲弊を招く恐れがある。地域に行き届いた代替案も検討していく。
2. 議員報酬の引き上げ
……市議会議員に比べ報酬は格段に低く、県内でも一部を除き、政務活動費もない。若手の議員のなり手がなく、議員の定数割れも全国的な問題になってきている。住民のご理解が得られるよう姿が見える議員活動に努めていきたい。

池田町議会としても、一丸となって議長を陰ながら支えて応援してまいります!

質疑 あれこれ

9月議会に上程された議案の中から
主な質疑を要約してお知らせします。

総務建設産業委員会

問 今回の池田町税条例改正の要点は。

答 主に法人税は下がり、軽自動車税は上がる。

問 消防団員の退職報償金について。地区により2年任期で退職する者もあるが支給の対象にならないのか。

答 報償金の支給は以前より3年以上としており、出来れば操作技術の習得や

経験も必要なことから3年以上務めて頂きたい。

問 消防団員確保の為の根本的な方策はないか。

答 以前より消防団員の定数や訓練日数を削減するなど、処遇改善にも取り組んできたが、今後はポンプ車と小型ポンプの配置換えなど関係者と相談しながら検討していきたい。

問 町税滞納処分等の実施状況で捜索とは。催告状や督促状を送付しても反応がなかったものに対して措置するもので、今回は軽自動車等のタイヤをロックして、収納を図った。

問 新規就農総合支援事業への取り組み状況は。対象者は3名で、1名は新規で2名は就農して5年が経過している。認定の際には県で慎重に審査されており、今後とも継続して就農して頂けると考えている。

問 町営住宅使用料滞納者への対応は。

答 所得証明の提出などの際、連帯保証人を再確認するなどの見直しをしたことにより、滞納は減ってきている。

問 町行政情報管理の為の契約状況は。

答 総合行政情報システムについては、5年間、岐阜県市町村行政情報センターと契約しているが、他市町では民間業者と契約していることもあるの

で、契約更新の際、検討したい。

問 各種団体への補助金交付について、以前より2割カットされているが、団体の活動状況によっては増額することも考えてはどうか。

答 今後2年間は、町として大きな事業を控えているので、今後の財政計画を立てる中、検討していきたい。

問 養老鉄道存続支援について、今後の方向性の考え方は。

答 近鉄は、現状の経営体制で鉄道を維持していくことは困難であり、いつまでも支援することは出来ないとしている。鉄道として存続するのであれば、自治体が鉄道施設を保有する公有民営方式により、平成29年度から移行することを提案している。

さらに、今年度中に沿線市町の方向性をまとめて欲しいとの意向もあり、近い将来、新たな事業形態になると考えるが、これに伴い外部の専門機関

へ調査を委託し、3市4町で将来の見通しを立てる中、どのような形になるうとも存続することを前提に方向性を決めて行きたい。

問 町有街灯修繕工事の内容は。

答 町内全域の通学路等に設置されている多種類の町有街灯など183基をLED化に修繕するもので、来年度は公共施設敷地内の街灯もLED化していく。



毎年8月に実施される総合防災訓練



町内各所に設置されている街灯

民生文教委員会

問 居宅訪問型保育事業の内容は。

答 障がいがある乳幼児に対して、一対一で行う保育事業で、8時間保育で料金についてはまだ決定されておらず、詳細は今後提示される。

問 町内の幼稚園は、認定こども園に移行しないが、その場合の補助金等の対応は。

答 認定こども園に移行しない場合は、現行のまま。

問 放課後児童クラブの対象が6年生までになるが、受入体制は出来るか。

答 5年生までを対象とした際には、全体的な利用者数の大きな変化はなかった。また、夏休みは利用者が増えるが、面積要件は満たしている。利用料については、月の途中で入退した場合の対応として日割り計算の検討も

していききたい。

問 私立幼稚園に対する就園奨励費補助金の内容は。

答 池田町の園児が町内外の幼稚園に通園している場合に、幼稚園教育の振興を図るため補助するもの。

問 池田町斎苑の施設状況は。

答 経年劣化により火炉が傷んできているので、毎年点検し修繕しながら運転しているが、大規模改修の計画はない。

問 今年度実施された全国一斉学力テストの結果についての考え方は。

答 現在結果を分析中であるが、池田町は概ね岐阜県と同じ傾向である。今後、指導・改善の方策を考え、その後説明責任を果たしていきたい。

問 ※タイムケア事業の利用者が増加しているが、サポートする側の体制についての考え方は。

答 ボランティア団体に支援して頂いているが、今後は施設の容量も考慮する中、放課後児童デイサービスへの制度移行も検討していきたい。

※タイムケア事業とは：

障がいのある子どもの一時的預かりを行うことにより、障がい児等が学校の下校後等に活動する場を確保するとともに、障がい児等の保護者が就労支援及びご家族の負担軽減を図るもの。

問 仮称 第二リサイクルセンター建設の進捗状況は。

答 池田町片山地区で計画しており、地権者と交渉中であり、今年度中には用地を確保したい。



▲リサイクル資源で一杯の池田町リサイクルセンター（沓井地内）

問 小学校・中学校の不登校の状況は。

答 不登校の一番多い理由は、怠学、無気力で学校へ行く意義が見つけられないということであり、今年度一学期は、小学生が2人、中学生が11人で二学期は増加する傾向があるので対策をとりたい。

問 池田公園多目的広場の今後の利用方針は。

答 今回は、岐阜県グラウンドゴルフ大会に向けて整備したが、今後とも各種のスポーツに利用して頂けるようにしていきたい。



▲多目的広場改修。広々とした会場での県グラウンドゴルフ大会（池田公園）

問 スマートフォンを使用している生徒の成績が落ちることへの対策は。

答 以前、生徒会による使用の取り決めがされた。11月には青少年育成町民大会が開催され、中学生やPTAの方が意見発表をされるので、それを契機にスマートフォン適切な使用についての運動を広げていきたい。

問 元旦マラソンが池田町体育協会から、池田町主催へ移行していくことについての経緯は。

答 今まで体育協会として限られた人員で運営してきたが、近年参加者が増えてきたことにより業務量が増加してきたことと、町としてスポーツを推進するため、イベントとして確立していきたい。



町長の四選出馬を問う

来年一月に任期満了による町長選挙が施行されますが、少子高齢化の時代を迎え、安定した町政経営が求められます。三期12年の実績を踏まえ、四期目を目指して出馬されるのか御意思を伺いたい。

町長

五次総の中間に来たところで、後半に向けやらなければならぬ課題がたくさん残っている。皆さんの御支援、ご理解がいただければ、四期目も町政を担わせていただきたい。

観光開発を問う 池田山麓花暦 みんなでつくろう花の名所

観光立町を目指して池田山麓の観光開発は、町を活性化するための重要な施策である。池田山麓はどの市町よりも素晴らしい自然環境に恵まれた立地条件にある。この恵みを受けた池田町民が自分の住む土地を愛し、町民自ら協働で作りにあげていく夢を共有したい。観光資源としての花の名所づくりを進めていく上で、花をどう生かすかは大切な要件である。線から面へと規模の大きな拠点づくりが大切である。年間を通して池田山麓に花がある、大津谷公園

と霞間ヶ溪公園の周辺の二つのゾーンに絞って、池田山麓花暦として考えてはどうか。広く町民に呼び掛け「みんなで作ろう 花の名所」のキャッチフレーズで、町民自らが池田山麓をキャンパスにして作り上げていくことが大切である。

町長

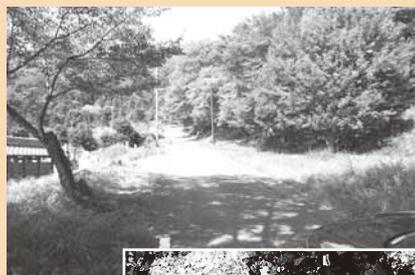
池田山、或いは山麓一帯はお金では買えない素晴らしい自然だ。これを有効に利用しながら魅力ある観光資源として作っていくことが必要だ。

行政が全て進めるのではなく、皆さんの参加の中で作っていくことが大切である。全体的に考え、池田温泉と道の駅を健康ゾーン、余暇の森。霞間ヶ溪周辺をスポーツゾーン、交流の森。大津谷については、学習ゾーン、自然体験が出来るとして拠点作りをし、花で結んでいく事が大切である。

花の名所と言われるところは、長い歴史がある。早い実現を目指して計画を立てていただきたい。

町長

早速行動していくことが必要と思う。地域一帯の皆さんのご理解を得る中、一緒に作っていくと言う気持ちをお大切にしながら、進めて参りたい。



杭瀬川から霞橋に至る



▲禅蔵寺東耕作放棄地

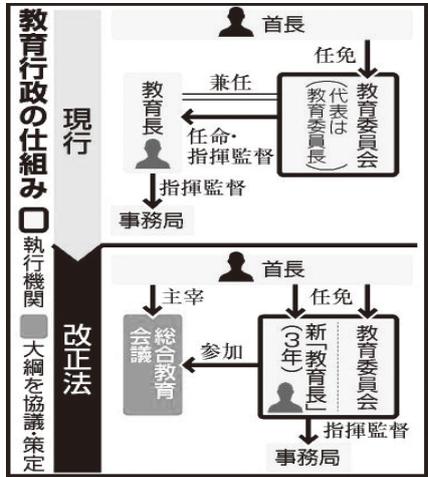


▲霞間ヶ溪町有地からの眺望





改正地方教育行政法に関する基本的な考え方について



来年4月から始まる新教育委員会制度の評価と首長のリーダーシップをどう考えるか。

町長

諸問題に迅速に対応するためにも、まちづくりは人づくりの観点からも評価できる。

総合教育会議についてどう考え、策定される教育の大綱の方向性は。

町長

子供たちにどのような教育をさせたいかという思いを伝えながら、メンバーの選定も教育委員会と連携をとり進めたい。

ご当地ナンバープレート の活用について

町が管理しているナンバープレートは走る広告塔である。いわゆるご当地ナンバープレートへの導入は、地域振興のPRと地域への関心と愛着の醸成を生むと期待されるが。

税務課長

池田町が管理しているナンバープレートは1,058台。導入自治体では、既存のプレートと選択制を行なっているところも多いが、地域のPRの一役を担っている。そのデザインやPR効果等、総合的に勘案して調査研究していきたい。

町長

増税のこともあるが、導入に当たっては費用対効果を考えながら進めたい。



▲大垣市のご当地ナンバー

マイマイガ対策と街路灯 防犯灯について

今年もマイマイガの大量発生により、町民の生活に多大な影響をもたらした。駆除方法等に関する今後の対策は。

環境課長

8月の広報でマイマイガ防除のご案内を掲載したが、情報の共有のためホームページにてマイマイガ駆除マニュアルを確認できるようにいたしました。

ようやくH23・6議会一般質問で提案した街路灯防犯灯の設備補助率を2分の1に改善する見通しだが、環境への配慮に加え、昨今の自治会の経済状況、マイマイガ対策等を考えて、LED化に向けた補助率をさらに引き上げるべきではないか。全額もしくは4分の3が望ましいが、最低でも3分の2にできないか。

町長

住民の健康対策・環境対策を考えると、3~4年の限定で補助率を3分の2から4分の3の間で決めたい。



▲LEDの街路灯



今後の観光施策（道路整備）について

池田山の裾野を横断し、四季折々の景観が楽しめるふれあい街道を、これからの観光客の増加を促進するためにも、県道に認定していただく措置を迅速にすべきではないか。

町長

県道昇格については、県との調整の中で県道にするための要件がある。今年度から、調査を県にて行っていただいている。調査結果を踏まえ、町の改良計画も踏まえ、県と連携をし方針を出していただけるように努力してまいりたい。



▲ふれあい街道（願成寺地内）



▲現在の県道（宮地～片山線）

東地域多目的ふれあい公園整備について

東地域も他の市町村からの移住が年々増加し、子供の数も増加している。又、毎年6月には、ほたる祭りが開催され、年々来場者数も増加している。地域の人口増加に伴う子供たちが安心して遊べ、地域イベント等が開催できる地域環境型多目的公園を整備される考えは。

町長

当面は池田小の全面改築、冷房化、給食センターの建設に全力を挙げながら、地域の皆さん方とも相談の上、第5次総合計画の中に入れ込んで進めていきたい。一体的に地域の方たちが一緒になって管理しながらやっていき、子供たちが安心して遊べ、お年寄りの方も来られる公園づくりを様々な補助メニューも探しながら進めていきたい。



▲ふれ愛公園（神戸町）



▲松山水辺公園（大野町）



豊かな自然力を活用して、風車と水車で特色ある観光地づくりを！

池田温泉と道の駅は池田町の観光地拠点であり、眼下の眺めと夜景の美しさは近郊に類を見ない独自の趣があります。そこには人々が集うシンボルとなる観光施設が必要であると思います。山からのせせらぎを利用しての水車と風車を一体化した施設を提案するかどうか。

又東近江市能登川町の能登川カヌーランドには大水車と水車資料館があつて、水の流れと公園がマッチして、観光地として多くの人が訪れる。池田町八幡地域には清流が集まり、水辺の趣があります。

水郷公園一帯の再整備で水車の風景をとり入れ、道の駅の風車と連動した観光地づくりを提案するかどうか。産業課長には観光地づくりの経緯についてお聞きします。

産業課長

昭和25年からの「池田桜まつり」を初め37回目を数えた「みの池田ふるさと祭り」、又観光道路としての「ふれあい街道」「登山道整備」昭和56年に「池田の森」平成5年に「ナッツバキの森」を整備し「ハングライダーやパラグライダー」発着地さらに平成7年から11年にかけての「大津谷公園一帯」の整備を行い平成8年に「池田温泉本館」を同15年に「新館」をオープン、平成23年に「道の駅」をオープンしました。現在、西美濃夢源回廊協議会を通じて町の魅力を発信し続けている。



▲アクアワールド水郷・パークセンターの風車（海津市）

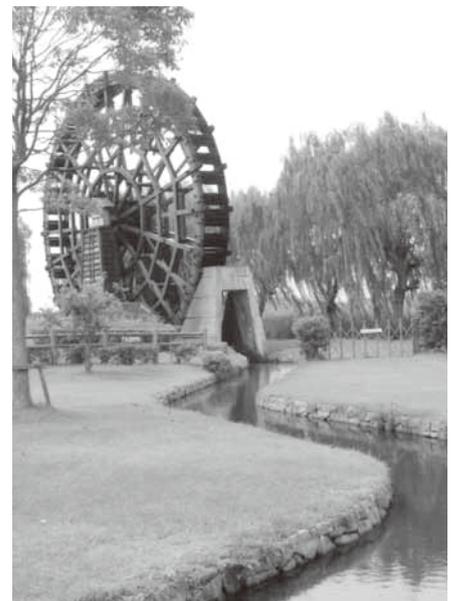
町長

道の駅周辺の井振谷の水量と高低差を利用して小水力発電を備えた水車をつくり、観光的にも魅力あるものが出来ないか検討する。中川水郷公園一帯での水車の設置については、ハリヨの生育の問題もあり調査の必要があると考えている。

池田山一帯の観光地づくりについてはどのように考えているか。

町長

町独自の考えではなかなか進まない。PR不足もあるが、西美濃夢源回廊協議会と連携をとり、池田温泉の魅力をさらに発信していきたい。



▲能登川カヌーランド（東近江市）



▲上八幡中川ハリヨ橋付近



子ども・子育て支援施策について ～少子化と人口減少対策～

周知のように我が国では少子高齢化が進み、2040年には半数の自治体で20～30代の女性が半分以下に減ると提示され、今何か対策を行い少子化に歯止めが必要です。若い人たちが集まる町に、その為には安心して子供を産み、育てる環境が整った町づくりが必要です。池田町には各種の少子化対策が実施されていますが、更に次の4点を提案します。

- ① 3人目の子供の給食費無料化
 - ② 保育料3人目以降無料に
現在同時入所第2子は2分の1、第3子以降は無料となっているが、上の子が小学6年と改正されたい
 - ③ ミルク代、紙おむつの無料券の配布
 - ④ 池田町定住促進奨励金制度の制定
- 池田町に住んでみたい。
池田町に住んで良かった。
池田町に住み続けたい。

そして池田町で生まれて良かったと云われる子育て支援の町になる事を提案いたします。そしてそれをもっと他町にもPRされたい。

町長

- ① 給食費無料化について 3人目と限定すると1000人～1100人で予算500万～700万円の支援になる。
- ② 保育園の無料化 上の子供が小学校3年生、小学校6年生、18才まで試算され、小・中の教育・食育支援として無料化にする対策を考えている。
- ③ ミルク、紙おむつについては、地域振興券を作り一年間有効で町内で使用、出産祝いも含めていきたい。
- ④ それぞれの段階に合った支援を拡充し、それから環境を整備する。順次一つずつ課題を超えて取り入れたい。



ふるさと納税について

「都会に出た若者が成長する際、地方が負担した教育費・福祉の費用を還元してほしい」との自治体の要望で出来た「ふるさと納税」池田町ではどの様に取り組んでいるのか。他市町では真剣に取り組み、年2億・3億の納税を得る町もある。放っていたら減収になるふるさと納税。担当課を設置するか、業者に委託するか早急に検討されたい。

町長

今までは、ホームページや広報でお知らせするなどして取り組んできたが、今後は、ノウハウを持った業者に委託するなどして早急に、真剣に取り組み、子育て福祉も含めネットでPRに務める。

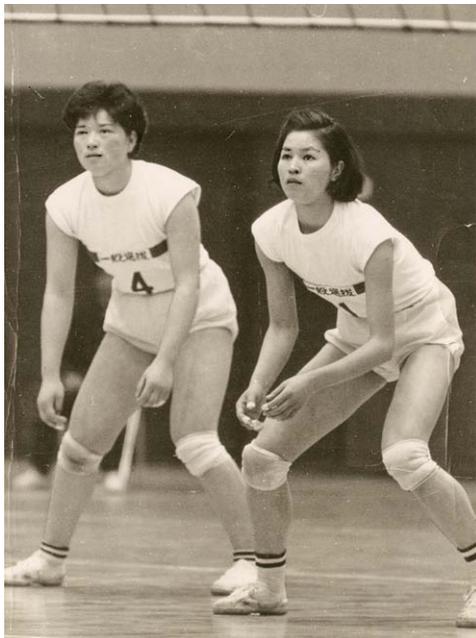


今回は、50年前の東京オリンピックバレーボールの候補選手に選ばれ、40年以上コートに立ち現在も「池田クラブ」の選手兼コーチとして活躍中の山元美代子さんのご紹介です。



●今までのバレーボールの経歴は？

鹿児島実践女子高を昭和33年に卒業、バレーボールの名門カネボウ四日市のアタッカーとして活躍、全日本選抜チームの主将としてアジア大会に出場して優勝、「日本一のアタッカー」として世界選手権にも出場、昭和38年の東京プレオリンピックに出場しました。東京オリンピックの全日本強化メンバーに選ばれましたが、最終選考で「ニチボー貝塚」の単独出場が決まり不参加となりました。



昭和38年東京プレオリンピックの強化メンバー練習風景

●その後の活動は？

昭和48年に池田町に移り住み、早速ママさんバレーの「池田クラブ」に仲間入りし、昭和51年に全国大会3位になりました。今は週に1回木曜日に温知小の体育館で2時間ぐらいの練習と、少年団にも小学生に基本を教え、バレーボールを通して思いやりのある子どもになってほしいと教育しております。

●これからの夢は？

自分の健康が続くかぎり、池田町のママさんバレーボールの指導をしていき、今、東で頑張っている孫の成長と6年後の東京オリンピック出場を願い応援に走り回っています。



池田クラブのメンバーと一緒に

編集後記

池田町に広がる田畑では、稲が頭を垂れ、柿が色つき秋の色合いが深まってきた今日この頃です。しかしながら今年の夏の異常気象は全国各地に甚大な自然災害をもたらし、広島市では土砂災害によつて多くの人命が奪われ、また、先日の御嶽山の噴火によつても本当に多くの人命が奪われ、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

池田町においては、大きな被害はありませんでしたが、毎年多様化する気象災害や東海・東南海大震災に備えなければなりません。池田町においても、町民の生命と財産を守ることを大前提に、防災政策を推進してまいります。なんとと言っても防災の根幹は「自分の命は自分で守る」に尽きると私は思います。そして隣近所の繋がりがこそが共助につながり、池田町として防災に強い町となると私は考えます。今夏の異常気象を機に防災予防や災害発生に対応できるように備えましょう。

(議会広報編集委員 白井幹太)

池田町議会は「政務活動費」はありません。